

リスクアペタイト・フレームワーク入門

— 構築・導入のアプローチと主な論点 —

日 時

2017年10月17日(火)
13:00~16:30 (受付開始12:30)

会 場

法政大学 新一口坂校舎(東京都千代田区九段北3-3-9)
<http://www.im.i.hosei.ac.jp/contact/access/>
市ヶ谷駅(JR、有楽町線、南北線、都営新宿線) 徒歩10分
飯田橋駅(JR、東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線) 徒歩10分
九段下駅(東西線、半蔵門線、都営新宿線) 徒歩15分

概 要

欧米の金融機関では、金融危機後、リスクアペタイト・フレームワークの整備が進みました。日本の金融機関でもビジネスモデルの改革とガバナンス改革が進展する中で全社戦略に基づくリスクテイク戦略の構築、リスク・リターン管理の徹底、リスクカルチャーの醸成などの観点から、大手金融機関だけでなく、地域金融機関でもリスクアペタイト・フレームワークの構築が進んでいます。

本研修セミナーでは、リスクアペタイト・フレームワークの構築の目的や基本的な考え方、構築上の留意点を、内外の金融機関の事例をもとに分かりやすく解説します。

参加対象

金融機関の社内・社外役員のほか、経営企画部門、リスク管理部門、内部監査部門の部門長、管理者・担当者を主な対象とします。

参加費用

会員/賛助登録して頂いた方は、初めて受講する研修セミナーの参加費用を無料とします。

会員 年会費/年賛助金 10,000円 参加費用 初回無料、2回目以降 5,000円
非会員 参加費用 毎回 10,000円

プログラム
(構成は変更
されることが
あります)

1. リスクアペタイト・フレームワーク (RAF)
 - (1) リスクアペタイトとは
 - (2) リスクアペタイト・フレームワークを構築する目的
2. リスクアペタイト・フレームワークの組織内への展開
 - (1) リスクアペタイト指標とその運営方法
 - (2) ベンチマークの活用
 - (3) 全体のRAFと個別業務のRAFとの関係
 - (4) リスクアペタイト・ステートメントの策定
3. RAFに活用するストレステスト
 - (1) ストレステストの全体像
 - (2) ストレステストの高度化に向けた論点整理
 - (3) RAFにおけるストレステストの位置付けと業務フロー

講師 有限責任 あずさ監査法人ディレクター 曾我部 淳 氏

受講証明

CIA、CFSA、CCSA、CFE等に係るCPE申請のための受講証明を発行します(3CPE)

申し込み

協会ホームページよりお申し込みください。 https://ifra.jp/seminar_info/index.html